

バンドリング・広域化を取り巻く状況

PPP／PFI 推進アクションプランにおける記述

PPP／PFI 推進アクションプラン（平成28年5月18日 民間資金等活用事業推進会議）

基本的な考え方

単独では事業化が困難なものについても「バンドリング」や「広域化」等により、事業としての成立性を高めるなどの工夫を行うことが重要である。

<定義>

「バンドリング」 : 同種又は異種の複数施設を一括して事業化する手法をいう。

「広域化」 : 複数の地方公共団体が公共施設等の管理者となってPPP／PFI事業を実施する手法をいう。

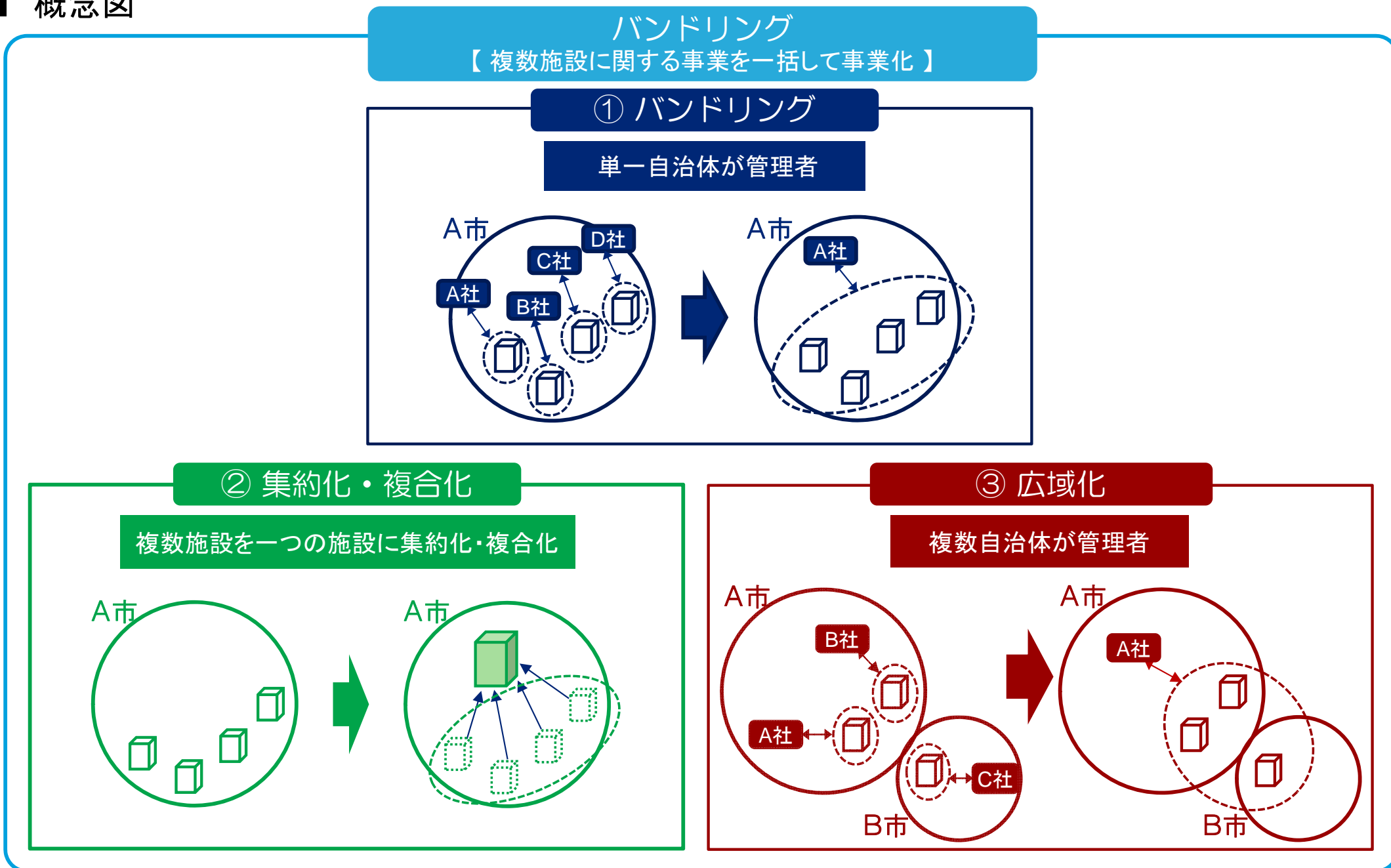
<背景>

PPP／PFI事業では、提案書作成、SPC設立、金融機関に支払う手数料など事業規模に関係なく民間事業者に発生する費用がある。

事業として成立するには、コスト縮減によってこれらの費用を補う必要があるため、ある程度の事業規模にして事業の成立性を高める「バンドリング」「広域化」の推進が求められている。

バンドリング・広域化とは

■ 概念図



バンドリング・広域化の具体的な事例①

■ 京都市立学校耐震化PFI事業 ①バンドリング

従来事業ならば一つ一つ耐震補強工事を行うところを、まとめて一度に整備するPFI事業として発注した。



事業の概要

事業実施主体

京都市

事業内容

市立小中学校の一括耐震化
(第1期4校、第2期5校)

事業時期

第1期:平成21~22年
第2期:平成22~23年

事業の効果

- 複数事業をバンドリングすることによりPFI事業での実施が可能となり、効率的な事業を実施。(VFM [入札後]: 第1期 1.4%、第2期 23.7%)
 - ① 予算制約から毎年1校ずつしか施工できないところを民間資金の活用により複数校一斉での対応を可能とした。
 - ② 工事中に仮設校舎への移転が必要になるところを、民間ノウハウの活用により仮設校舎を必要としない耐震工事を可能とした。

バンドリング・広域化の具体的な事例②

■ おおぶ文化交流の杜PFI事業 ②複合化

図書館、文化・学習施設（ホール、スタジオ、学習室、会議室等）、市民交流施設を複合施設化しPFIにより一体整備を行った。



事業の概要

事業実施主体

愛知県大府市

事業内容

図書館、文化・学習施設

事業時期

平成26年3月施設完成
15年間の運営・維持管理

事業の効果

- 施設を複合化したことにより、
 - ① 郊外の立地ながらショッピングモール並みの集客力と拠点性が生まれた。
 - ② ホールと図書館で相互の「ついで利用」が見られるなど新しい利用者を取り込んだ。これにより、図書館の年間利用者数は当初目標20%増の52.8万人を達成した。
- 運営面で施設相互の異種交流がはじまり、施設の相乗的な機能向上が進んだ。
例) ホールと図書館で連携したイベント開催など
- VFM（特定事業選定時）4.9%

バンドリング・広域化の具体的な事例③

■ 石川県七尾市の例 ②集約化・複合化

市町村合併を背景に地域に同じ用途の公共施設が存在。施設の老朽化、人口減少等の課題もふまえ、公共施設等総合管理計画に基づいて公共施設の集約化・複合化を推進

【集約化】

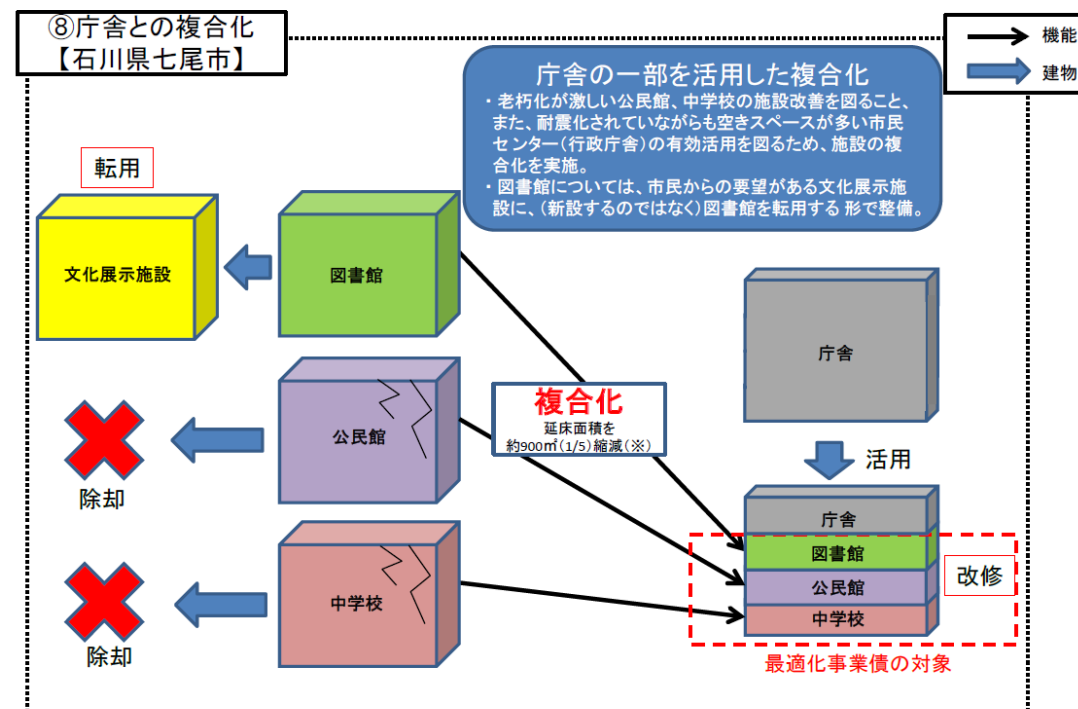
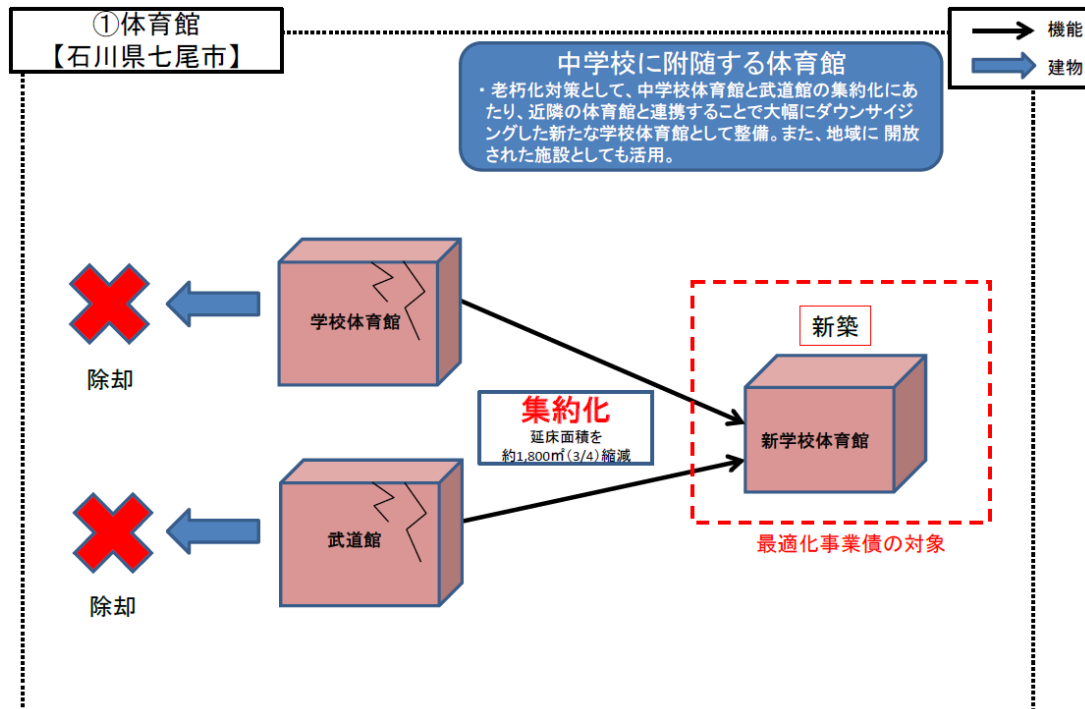
学校体育館と武道館を一体化して
1つの体育館に集約

- 延床面積で約75% (1,800m²) 削減
- 施設配置の適正化

【複合化】

庁舎機能を縮小し、空きスペースに
図書館、公民館、中学校を入れて複合化

- 延床面積で約20% (900m²) 削減
- 庁舎施設の空きスペースの有効活用



※ 最適化債の対象外施設も含めると延床面積を約4,900m²(1/2)削減